

日本学術会議 公開シンポジウム

「数学教育の変遷～数理・データサイエンス・AI 時代における数学教育の変革
及び女性人材の登用に向けて」

の開催のご案内

日 時：令和 5 年（2023 年）8 月 2 日（水）13：00～17：00

場 所：日本学術会議講堂（東京都港区六本木 7-22-34）（ハイブリッド開催）

対 象：数学教育に関心を持つ方（事前登録制）

会 費：無料

・開催趣旨：数学が科学を記述することばであり、社会の基盤を支えていることから数学的な基礎力を身に付けることが必須となっている。数理・データサイエンス・AI 時代において数学的な基礎力を身に付けた多様な人材育成、女性人材の育成が必要であるという「報告 数学教育の変革について」を準備中であるが、明治 5 年（西暦 1877 年）の学制頒布では自然科学・工学を学ぶためには西洋数学を学校で教授することとしたという変革があったことから、江戸時代以降の数学教育の変遷を振り返りつつ、今日及び次の時代を見据えた数学・数理科学の教育に関わる議論を行い、社会発信の場とする。

7. 次 第：

総合司会 伊藤 由佳理（東京大学大学国際高等研究所カブリ数物連携宇宙研究機構教授）

13:00 開会挨拶及び趣旨説明

真島 秀行（お茶の水女子大学名誉教授）

13:15 講演Ⅰ 「数学教育に活かそう「数学月間」の心」

谷 克彦（NPO 法人数学月間の会副理事長・元（株）リコー中央研究所）

13:45 講演Ⅱ 「科学技術のイノベーションに必要なもの－江戸時代にもあった異分野の研究者の交流－」

鳴海 風（歴史小説家・元（株）デンソー技術者）

14:30 分科会報告（案）及び討論

司会 清水 美憲（筑波大学人間系教授）

渡辺 美智子（立正大学データサイエンス学部教授）

川添 充（大阪府立大学国際基幹教育機構教授）

高田 章（ロンドン音大学特任教授）

西村 圭一（東京学芸大学大学院教研究科教授）

- 16:00 講演Ⅲ “OECD Learning Compass for Mathematics”
田熊 美保 (OECD 教育・スキル局 (EDU) シニア政策アナリス
ト) r
- 16:30 講演Ⅳ 「女性人材登用を我が国で円滑に進めるために」
平田 (河野) 典子 (日本大学理工学部特任教授)
- 17:00 閉会挨拶
清水 美憲 (筑波大学人間系教授)

(下線の講演者等は、主催分科会委員)

・ 参加申し込み方法：後日、日本学術会議ホームページでお知らせします。

問い合わせ先：真島秀行 (お茶の水女子大学名誉教授) e-mail: [majima
a.hideyuki*ocha.ac.jp](mailto:majima.hideyuki@ocha.ac.jp) (送信の際には*を@に変えてください)

主 催：日本学術会議数理科学委員会数学教育分科会、数理科学委員会 IMU 分
科会、数理科学委員会数学分科会、数理科学委員会数理統計学分
科会

後 援：NPO 法人数学月間の会、一般財団法人統計質保証推進協会、統計関連学
会連合、一般社団法人日本応用数理学会、公益社団法人日本数学教育学、(依
頼中) 一般社団法人日本数学会会、